

「早急に乳価改定を」

酪農法人会 ホクレンなどに要請



要請書を持つ小椋会長
(右)と井下副会長

年度販売対策の使途や効果の公開、22年度については全国の生産者が負担する制度の利用などを求めた。

要請後、小椋会長は「飼料や生産資材、燃料費が高騰し、下がる要素がない異常事態。これまでの酪農人生で一番厳しい状況にある。現場に即した対応をしていただきたい」と窮状を訴えた。

ホクレンは今年度乳価について、全用途の価格を据え置くことで乳業メーカーと合意している。

(沖田唯可)

【札幌】十勝酪農法人会(小椋幸男会長)と北海道農業法人協会酪農部会(小椋部会長)は2日、ホクレンとJA北海道中央会に対し、乳価の早急な期中改定などを求める要望書を提出した。

両団体の小椋会長と井下英透副会長が札幌市内のホクレンビルなどを訪れ、担当者に手渡した。要請は非公開で行われた。

道内生産者が財源を拠出した、輸入乳原料を国産に置き換えるための2020

◇北海道電力ネットワーク
人事 (16日、関係分)
▽配電部スマートメーター
管理センター所長(帯広支店
配電部長) 鷲尾英哉▽帯広支
店配電部長、帯広支店配電部
配電グループリーダー(帯広
支店配電部配電グループリー
ダー) 名内裕貴